

すすめ!たかわん

発行日 : 2013年8月31日
 発行番号 : 10
 発行者 : NPO法人みたか都市観光協会
 お問い合わせ : 0422-40-5525
 URL : <http://taka-1.mall.mitaka.ne.jp/>

ぶんしん出版

井の頭公園*まるごとガイドブック

『井の頭公園*まるごとガイドブック』とは？

あるようでなかった、1冊まるごと井の頭公園に注目したガイドブック。三鷹市に住む安田知代さんが、慣れ親しんできた井の頭公園の魅力わかりやすく紹介したいと、



▲『井の頭公園*まるごとガイドブック』

市内の出版社・株式会社文伸 / ぶんしん出版と協力して出版しました。「井の頭公園の魅力わかりやすく伝えるとともに、歴史や環境など、様々なことに興味をもってもらいたかった」と安田さん。2年がかりで取材や調査を重ね、魅力あふれる井の頭公園を、自然や歴史、文化と様々な角度からとらえています。株式会社文伸の川井さんも、「いつも親しんでいる公園に恩返しをしよう」とこのガイドブックを作ることにしたそうです。

お二人の井の頭公園への思いが込められた、お土産にも、公園の散策のお供にも、「井の頭公園検定（通称いのけん）」にもぴったりな1冊です！

知らなかった魅力がたっぷり！

「三鷹には歴史資料館がなく、他の市から資料を集めたりして、完成までに長い時間がかかってしまいましたが、たくさんの人への取材も含め、知の集結といえるものができました」と安田さん。その言葉のとおり、井の頭池・弁財天、池周辺、井の頭自然文化園、三鷹の森ジブリ美術館と大きく4つに分けられている本書のどのページを開いても、今まで知らなかった公園の魅力が満載です！その中で、安田さんが特に読んで欲しいページは、池や弁財天などの「歴史散歩」。弁財天のみならず、石燈籠や橋の歴史、伝説などがとても詳しく解説されており、読み応えのあるページとなっています。

株式会社文伸 / ぶんしん出版の宮川さんに聞く

～ TAKA-1 に認定されて～

「この『井の頭公園*まるごとガイドブック』が TAKA-1 に認定されて、地域のお祭りやイベント等でも紹介できるようになり、この本をより多くの方に知っていただく機会が増えました。お客様の反響を直接聞くことができたり、他の TAKA-1 認定商品のメンバーと交流する場が増えたことも嬉しいことです。」と宮川さん。



▲ 株式会社文伸 / 文伸出版の宮川さん

◇株式会社 文伸

株式会社文伸は、印刷・出版・web・映像といった様々なコミュニケーションツールを使用し、「人に伝える」「人とつながる」をキーワードに地域の魅力を発信する印刷会社です。

昨年 2012 年に創立 50 周年をむかえました。代表取締役である川井信良さんが大切にしていることは、「まちを一緒につくっていく」という気持ちや姿勢。地域・人とのつながりを大切に、「まちの印刷会社」として、『みたか散策マップ』や井の頭恩賜公園 100 周年カウントダウン情報紙『いのきちさん』などを作成し、地域の魅力をたくさん発信しています！

地域とのつながりを大切にしているこの会社は、地域の方々にむけた講座を開いています。毎年5月ごろに無料で開催されている『PTA 広報誌のつくり方講座』では、作る方法だけでなく、どうやったら読まれるか、読みやすいか、という工夫やポイントを教えてください。その他にも、随時『読まれる広報誌講座』や印刷制作の工場見学、学生の就労体験の受け入れなどを行っています。詳しくは、文伸ホームページへ <http://www.bun-shin.co.jp/>

TAKA-1 (タカワン) は、市内の魅力的な商品を TAKA-1 として認定することで、多くの人たちにその良さを知ってもらい、三鷹市を代表するブランドとして育てていこう！そんな思いで始めた事業です。NPO法人みたか都市観光協会、(株)まちづくり三鷹、三鷹商工会をはじめ、市内の様々な団体が協力して実

施しています。平成24年度は「おみやげ部門」として15商品を認定しました。この情報紙「すすめ!たかわん」では、毎回1つずつ、認定品の魅力や、作っている方々の熱い思いを、みなさんにお伝えしてまいります。

『井の頭公園*まるごとガイドブック』の

著者 安田知代さん

著者の安田さんは、合同会社++(たすたす)の代表として活躍されています。

<http://tassetasse.jp/>



「合同会社 ++ (たすたす)」について

地域の文化と風土と人を大切にし、400年後の未来を思い描きながら、環境破壊などマイナスの状況をプラスにかえていくことを目指しています。「未来の負荷を減らしてくビジネス」を具体的に実践したいという思いから、【SMALL WOOD TOKYO】の木製プロダクトの商品化・販売をはじめ、編集・デザイン制作などのクリエイティブな事業を行っています。

【SMALL WOOD TOKYO】では、多摩産のスギ・ヒノキでつくられた『敷くだけフローリング』を活用した「DIY リフォーム(※DIYはDo It Yourselfの略)「自分で作ろう」という意味です)」を広めているところです。「無垢の木をたくさんつかったリフォームは、気軽にできて、しかも室内環境が劇的に快適に変化します。自分の手を使って楽しみながら、無垢の木を取り入れていただきたいです」と安田さん。「でも、一人でやるのは、難しそう…」という方にはサポートサービスもあります。

<SMALL WOOD TOKYO プロダクト>

東京都の森の7割は、多摩地域にあることを知っていますか。その6割がスギとヒノキの人工林なのですが残念なことに高度経済成長時代を通して十分に手入れされずにあれてしまった山が多く、土砂崩れや花粉症などの原因になっています。

そんな状況を改善するために、現在、東京都の花粉対策事業で大量の木が伐採されているのですが、節が多かったり、短かったりして建築材として活用できず、低価格で合板材や燃料チップにされてしまう木が急増しています。

【SMALL WOOD TOKYO】は、そうした木々を丁寧に加工し、室内空間を快適にする無垢の木製品に仕上げ、木の価値を高めて森の再生につなげていく試みなのです。

<http://www.smallwood.jp/>



SMALL WOOD TOKYO の商品のひとつ「もてもてキューブ」

●フリーペーパーいのきちさん

『いのきちさん』は、井の頭恩賜公園を愛するメンバーが集まって隔月(奇数月)に発行する、井の頭恩賜公園 100 周年カウントダウン新聞です。名称は井の頭公園の「いの」、隣接する吉祥寺の「きち」、井の頭池が市内にある三鷹市の三「さん」から付けられたものです。『井の頭公園*まるごとガイドブック』の著者・安田さんによる「井の頭恩賜公園の歩み」や公園にゆかりのある方々の紹介、自然文化園のアジアゾウ・はな子の様子など、読むたびに新しい発見があります。こちらは、市内の商店や観光案内所に設置してあります。また、バックナンバーはホームページ (<http://www.inokichisan.com/>) でもご覧いただけます。



安田さんや川井さんの井の頭公園への思いが、取材をとおしてひしひしと伝わってきました。都会のオアシス・井の頭公園の自然や文化をいつまでも残してほしい、残していきたい！と強く感じました。(たかお)